



柏市立図書館員おすすめ本

よんでみませんか

2025年

【5・6年生向け】

のうじょうにすむねこ



トラネコボンボン なかにしなちお／作
小学館

猫（ねこ）が農場の動物たちを紹介（しょうかい）していくお話。
現代アート風で、地図や楽譜（がくふ）、外国語の文章の切り抜（ぬ）きがところどころにあって間違（まちが）い探（さが）しのように楽しめる絵本。ぜひ親子で読んでみてください。

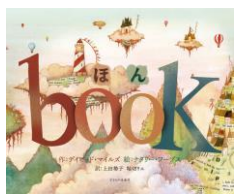
奇妙で不思議な樹木の世界



ジェン・グリーン／文 英国王立園芸協会／監修
クレア・マケルファトリック／絵 加藤 知道／訳
創元社

みなさんは樹木（じゅもく）についてどれくらい知っていますか？ 樹木は地球上で最も大きく、最も重く、最も長生きするとも言われています。そんな樹木のたくさんの不思議にふれてみませんか。

ほん book



デイビッド・マイルス／作 ナタリー・フーズス／絵
上田 勢子・堀切 リエ／訳
子どもの未来社

この「ほん」「本」「book」をよく見てごらん。そうしたら新しい世界に入りこめる。あなたにとっての「ほん」とはなあに？ ところどころにかくれた日本語も探（さが）してみてね。

赤毛のアン



ルーシー・モード・モンゴメリ／著 曾野 綾子／訳
興陽館

手違（てちが）いで、カナダのプリンスエドワード島に住む、カスパート兄妹のもとにやって来た孤児（みなしご）のアン（アン）の成長物語。今年再アニメ化もされたので、観たことがある人もいるのでは？

せんそうがおわるまで、あと2分



ジャック・ゴールドスティン／作 長友 恵子／訳
合同出版

赤いポピーの意味を知っていますか？ ジュールは生まれたときからジムの2分遅（おく）れ。二人はカナダから遠い戦場へ行くことになり……。戦争本と遠ざけないで読んでほしい1冊（さつ）。

三本の金の髪の毛

中・東欧のむかしばなし



松岡 享子／訳 降矢 なな／絵
のら書店

狩（か）りの好きな王さまがとまることになった炭焼きの家で、その夜生まれた赤んぼうに、三人の女が予言（よげん）を贈（おく）りました。屋根うらの床板（ゆかいた）のすきまからそれを見ていた王さまは、何とかして予言の裏（うら）をかこうと考えます。＜表題作より＞気になる話から読むことのできる短編集です。

少年探偵 1 怪人二十面相



江戸川 乱歩／作
ポプラ社

怪人（かいじん）二十面相と名探偵（めいたんてい）明智小五郎・その助手である小林少年の華麗（かれい）なる推理（すいり）対決（たいけつ）。あまりミステリーを読んだことがない人にも、ぜひ、この名作は味わってもらいたいです。

みるなのくら



おざわ としお／再話 赤羽 末吉／画
福音館書店

山奥（やまおく）へ迷いこんだ貧しい若者は、美しいあねさまのいる大きな屋敷（やしき）にたどり着きます。屋敷には十二のくらがありましたが、「けっしてみないでくださいね」と言われたみるなのくらをあけてしまい……。

伝統の和食から現代のWASHOKU



服部 幸應・服部 津貴子／監修 こどもくらぶ／編
あすなろ書房

伝統的な和食と、私たちの毎日の食事にはいろいろな違（ちが）いがあります。この本は、身近な食文化である和食を、伝統の和食・懐石（かいせき）料理・現代のWASHOKUというテーマから紹介（しょうかい）します。

ウマと話するための7つのひみつ



河田 棧／文と絵
偕成社

動物と話したいと思った人もいるのではないのでしょうか。ここにでてくるウマにも、居心地の良い距離感（きょりかん）というのがあります。そのコミュニケーションのために「馬語」を使用します。ウマとの接し方が分かる本です。



柏市立図書館のホームページにも掲載しています。ご覧ください。

さしえとタイトル 大野 隆司・版画

柏市立図書館

電話 04-7164-5346

<https://tosho.city.kashiwa.lg.jp/>

